

2024 年度 第4回 公立大学法人埼玉県立大学理事会 議事録

日 時 2024年7月22日(月)10:00~10:45

会 場 本部棟大会議室(オンライン併用開催)

出席委員 田中理事長、星副理事長、磯田理事、伊藤理事、岡島理事、戸所理事、佐野監事、中野監事

出席教職員 林副学長兼学部長、田口学長補佐兼専門職連携教育研修センター長、長岡副局長、高柳調整幹兼総務担当部長、篠原企画・情報担当部長、濱口財務担当部長、中野研究・地域連携担当部長
【オンライン】
金村研究科長、東高等教育開発センター長、延原情報センター長、濱口研究開発センター長、滑川保健センター長、北畠地域連携センター長、田中共通教育科長、國澤看護学科長、山崎理学療法学科長、久保田作業療法学科長、河村社会福祉子ども学科長、廣渡健康開発学科長、山口高等教育開発センター副センター長、小林研究開発センター副センター長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長

議 事 概 要 ○:学外理事、監事 ●:学内理事、事務局

【議事録確認】

理事長から前回の議事録が提示され、確認された。

【議決事項】

第8号議案 教員の採用について

資料に基づき、星学長から説明した。案のとおり、異議なく議決された。

主な発言は以下のとおり

○教員の給与に関して、教授や助教授ごとのモデルケースのようなものはあると思うが、例えば医師免許を所持していると給与が加算さ

れる、といった仕組みはあるのか。

●教員の給与は、その方の職務経歴に応じた格付を行っている。また、通常の格付に加え、医師免許を所持している場合には特別な手当が支給される。

○教員の公募については中々条件が厳しい場合も見受けられる。これは、特に候補者のあてを大学として持っていない状態で公募をかけているのか。

●各学科にて、公募による採用のため不採用となる可能性があることをお伝えした上で、応募いただけないかというお声がけをすることもある。

○1人しか応募がなかったこともあるのか。

●ある。募集する分野によって応募状況に差があるというのが実情である。専門性の高い分野になるほど応募人数が少なくなる印象を受けている。しかしながら、先日から募集を開始した健康情報科学専攻の教授または准教授のポストについては、10人以上の応募が来ている。

○教員の採用①について、担当科目以外に行う可能性のある業務がかなり多く書かれていると思う。これだけの人材を採用することは可能なのか不安を覚えるがいかがか。

●ご指摘のとおり、担当いただく科目数は若干多いと思われる。しかしながら、来年度から開始する大学院改革にきちんと対応するためにも、こういった人材が必要と考えている。

○理事長採用枠は全3枠あるところ、現在2枠を使用しており、残り1枠の人材をこれから採用するということか。

●そのとおりである。

第9号議案 予算の流用について

資料に基づき、長岡副局長から説明した。案のとおり、異議なく議決された。

主な発言は以下のとおり

○今回、令和6年度の補助事業が新たに採択されたことによる予算の流用とのことだが、事業の採択が決定する前に予算を取るのは通常の方式なのか。

●例年この方式で実施している。翌年度の補助事業の事業テーマが発表されるのが、例年前年度末頃となっており、本学の予算編成のタイミングに間に合わない。したがって、事前に見込みで予算を計上し、採択後に予算を調整している。

○今回本件が理事会諮られているのは、公立大学法人埼玉県立大学予算規程にて「大区分を変更して予算を流用する必要がある場合は、あらかじめ理事会の議を経なければならない」とあるからとの説明だったが、もう少し弾力的に動けた方が良いと思う。本補助事業は6月にはすでに採択されていたとのことだが、議案に上がってきたのは7月の理事会である。例えば、全額国庫を財源とするような事業については、理事会の議を経ずとも流用いただいて構わないと思う。他の理事の意見を伺いたいがいかがか。
(複数の理事から同意の発言有り／流用後の報告で構わないとの発言もあり)

●今後、規程の見直しを含めて検討する。

○採択事業について、複数の指標を組み合わせて分析を行うとのことで、非常に興味深い反面とても難しい内容だとも思う。大学が取組む内容として良いものとする。この事業の結果については、どのように自治体に共有していく予定なのか。

●本事業の終了後に報告会を実施する予定である。他にもホームページ等で広く結果を共有することを考えている。

以上